

プログラミング入門講座	講座名	AI技術の活用
立石朝春（四国大学 徳島光・アート教育人材育成事業実施本部）	担当教員	長沼次郎（四国大学経営情報学部メディア情報学科教授） 細川康輝（四国大学経営情報学部メディア情報学科准教授）
2021/9/12（日）14:00～17:00	開催日程	2021/9/18(土)、19(日) 各日9:00～16:10 (2日間の集中講座) 延期となりました（11月頃開催予定）
オンライン	開催場所	四国大学古川キャンパスU209
20名	定員	20名
9/18・19開催「AI技術の活用講座」に先立ち、講座で使用するプログラミング言語「Python」を経験していただく講座です。	講座詳細	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回：プログラム実行環境について（90分） 本講座で用いる機械学習ライブラリTensorFlowとその実行に用いられるプログラム言語Pythonについて紹介し、プログラミングに必要なCUIでのファイル操作、テキストエディタの利用、プログラムの実行を体験する。 ●第2回：Pythonプログラミング（90分） Pythonの基本的なプログラム方法と、TensorFlowを利用するために必要なPythonの知識について学ぶ。 ●第3回：TensorFlowを活用した画像分類プログラム（90分） TensorFlowの公式ページにあるチュートリアルを実行し、画像分類でのTensorFlowのプログラミングを学ぶ。 ●第4回：画像分類プログラムの画像データについて（90分） 画像分類プログラムに用いられている画像ファイルの扱いについて学ぶ。 ●第5回：独自画像の分類プログラム（90分） 独自に用意した画像を分類するための方法を学ぶ。 ●第6回：画像処理プログラム（90分） 画像処理ライブラリであるOpenCVによるカメラ画像の取得と分類プログラムに必要な加工について学ぶ。 ●第7回：GUIプログラム（90分） カメラ画像の表示、結果の閲覧などを表示するアプリケーションの作成に必要なGUIプログラムの基礎を学ぶ。 ●第8回：画像分類プログラムの可能性をまとめよう（90分） 様々な分類課題に対して本講座で学んだ知識技術を応用する方法をまとめる。

プロジェクションデザイン（光る特産品）	講座名	光アートビジネス論
上野 昇（四国大学生生活科学部人間生活科学科准教授）	担当教員	大野宏之（四国大学経営情報学部経営情報学科准教授）
2021/9/25(土)、26(日)各日14:40～17:50 (2日間の集中講座) 延期となりました（11月頃開催予定）	開催日程	2021/11/2(火)、11/9（火）、11/16(火)、11/30（火） 各日18:30～20:30
四国大学古川キャンパス	開催場所	四国大学交流プラザ
20名	定員	15名程度
特産品等の商品ディスプレイを卓上プロジェクションマッピングで演出します。	概略	「デザインによる創造力開発」をさらに深化させ、デザイン思考をビジネスの現場で展開できることを目指します。
<ul style="list-style-type: none"> ●第1回：オリエンテーション（90分） ●第2回：卓上PMの基本操作（90分） PowerPointを使用して立方体にPMを投影しながら、色、線、文字等のアニメーションをマスターする。 ●第3回：卓上PM（実践編）（90分） 各自の演出したい特産品にPM演出をおこなう。 ●第4回：卓上PM（実践編）（90分） 特産品にPM演出を仕上げていく。 ※各作品は、展示や動画撮影して公開します。	講座詳細	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回 ・全体ガイダンス・今という時代について（講義）・なぜ今デザインか（講義） ・次回までの課題出題 ・参考図書紹介（紹介する本などから1～3冊を選び講座最終回にA42枚程度にまとめ提出） ●第2回 ・課題発表・そもそもデザインとは（講義）・論理的アプローチ（講義） ・次回までの課題出題 ●第3回 ・課題発表・思考的アプローチ（講義）・プロトタイピング（講義） ・次回までの課題出題（第4回ではチーム演習を行います） ●第4回 ・プロトタイピング演習・チーム単位でのプレゼン・まとめ